

「疏水フォーラム in 常西用水 2023」 「疏水の今そして未来へ」開催

令和5年10月30日(月)
 農業者のみならず、国民共有の貴重な財産である「疏水」。その機能を広く周知し、将来に引き継いでいけるよう情報の共有・発信などを行うことを目的とした「疏水フォーラム」が、富山市の富山国際会議場を舞台に開催されました。



(上) (左下)「疏水の今そして未来へ」と題し、5年ぶりに開催された「疏水フォーラム」。多くの疏水関係者が参加した。(右下)ロビーには疏水に関連するパネル展示がなされ、多くの人が足を止めていた。

混在化が進む 都市部の疏水の現状とは

「疏水百選」が選定されたことを機に、平成18年度から開催されている「疏水フォーラム」13回目の開催となった今回は、全国から740名の疏水関係者が参加した。

水士里ネット富山の鹿熊正一理事の開会宣言に続き、挨拶を行った疏水ネットワーク会長(水士里ネット常西用水理事) 中川忠昭氏は「保全管理における課題を共有し、自らの地域でどのように取り組めばよいかを考え、具体的な活動につなげていきたいと思います」と語った。

フォーラムでは、農林水産省農村振興局整備部水資源課長・瀧川拓哉氏による基調講演「疏水をめ

ぐる課題と対応」水士里ネット天狗岩事務局長・磯田靖氏による講演「都市化が進む地域における農業用水の維持管理について」、さらに水士里ネット常西用水事務局長・水谷英二氏から活動報告「常西用水の維持管理活動について」が行われ、都市部の疏水における現状が語られた。

疏水管理の現状と課題を 各地域で共有

続くパネルディスカッションでは、コーディネーターに上智大学グローバル教育センターの杉浦未希子教授、パネリストには先述の中川氏、瀧川氏、磯田氏に加え、水士里ネット鹿妻理事の高橋隆氏が登壇。「都市地域の疏水

の保全活動を考える」をテーマに討論が交わされた。

第1部の「疏水管理の現状と課題」では、各々の地域特有の課題、そして都市地域に共通する課題を共有。中でも「都市化が進み、疏水に関心のない非農業従事者が増えている。そうした地域住民と関わりを持つことが大切である」という声が各地域共通の課題として挙げられた。第2部・第3部では、こうした課題についてどのような対策を講じているのか、各地域から具体的な取組が紹介された。

地域住民にも知って欲しい 「疏水」は国の礎である

最上流に昔ながらの石積水路を残し、桜並木や松並木を散策できる常西用水。中川氏は「県単独事業で造られたプロムナードですが、地域住民が疏水の歴史を知



中川 忠明氏



高橋 隆氏

る上でとても有効です。小水力発電所も、子どもたちが環境を学ぶ学習の場として活用しています。このような施設を活かして、ふるさと探訪・親子バスツアーといったイベントも企画し、疏水に対する理解促進を図っています。疏水は先人の涙ぐましい努力によって存在し、私たちの生活が成り立っています。このことに対して感謝することが大切です。将来を担う子どもたちや地域住民にその歴史を知ってもらおう。このことについて一層取り組みが必要があると考えます」と力を込めた。

水士里ネット鹿妻では、平成16年度より「アドプト活動」を継続。協定を結んだ地元企業や小学校との協働活動で施設の維持管理に努めている。「今では12施設24団体まで広がり、多くの方に清掃や美化活動に関わってもらって

います。また、水源涵養林では子どもたちを対象に植樹体験学習会を行っています。都市部だからこそ、より多くの人が疏水に接する機会がある。今後も次世代になく啓蒙活動を継続していきたい」と高橋氏。水の教育の大切さについて、熱く語った。

400年を超える歴史を有する天狗岩用水。磯田氏は「社会科見学や食育を通して、子どもたちに農業用水が自分たちの生活に欠かせないものだを知ってもらうことが重要だと思います。子どもたちへの理解が深まれば、地域との関わりも増える。もっと疏水を身近に感じてもらうって、誰もが農業用水の恩恵を受けていることを知ってほしい。そうすれば意識も変わり、



磯田 靖氏(左)、瀧川 拓哉氏(右)



杉浦 未希子氏

不法投棄なども減るのではないのでしょうか」と語った。

各地域のお話を受けて瀧川氏は「疏水の保全管理は、食料の安定供給の確保を図る上で極めて重要ですが、管理者不足という問題もあります。国として管理をどう支えていけるか、皆さんのご意見を参考にさせていただき、施策の充実を図っていきたく思います」と語り、杉浦氏は「今回強く感じたのは、疏水は国の礎であるということ。瀧川様が仰るとおり、その役割は食料生産という点で大変重要です。食料生産を支える「水」を守ってきた歴史と努力を非農業従事者の方々にもぜひ知っていただきたい」と総括し、本フォーラムを締めくくった。